

入院中の精神障害者の福祉サービスに対するニーズ調査結果の詳細について

1 調査のあらまし

(1) 目的

精神科病院に継続して 6 か月以上入院している人を対象に、早期退院に向けて各種福祉サービス利用に対するニーズがどの程度存在するかを把握し、今後の支援体制整備の基礎資料とすることを目的に調査を実施した。

(2) 方法

質問紙（エクセルファイル）を、名古屋市を含む愛知県内の全精神科病院に送付し、病院として上記ニーズを有すると判断した人について、下記事項の記入を求めた。

回答事項	
(A) 年齢、(B) 性別、(C) 入院形態、(D) 入院期間、(E) 疾病名	
(F) サービス認定状況	
〔障害支援区分と要介護度区分について、それぞれの申請・認定状況と、さらに認定済みの場合はその区分を選択〕	
(G) 福祉サービスに対するニーズ	
〔1. すでに利用中（又は申込中）、 2. 早期退院に向けニーズあり、3. 当面ニーズなしの区分にしたがい、「(障害者) 地域移行支援サービス」、「(高齢者) ケアマネジメント・サービス」、「グループホーム」のそれぞれについて選択。〕	
(H) 入院前の住所地	
〔入院直前に生活していた市町村名を記載。〕	
(I) 退院に向けて特に調整、時間を要する事項	
〔1. 患者本人が退院の意思を持つこと 2. 家族（キーパーソン）の協力 3. 住まいの場の確保 4. 生活保護を含めた退院後の生計維持 5. デイケアを含む日中活動の場の確保や就労支援 6. ホームヘルプサービスなどの日常生活支援 7. 通院先の確保や訪問看護など治療の継続性 8. その他（自由記載）の区分に基づいて記載。 複数選択可能 〕	

(3) 調査実施時期

平成 27 年 9 月 28 日に質問紙を各病院に送付し、平成 28 年 1 月末日までに回答のあった分を集計対象とした（当初の回答期限は 12 月 15 日）。

なお、回答の時点は統一せず、病院の実情に応じて、この期間内の任意の時点で回答してもらった。

2 結果について

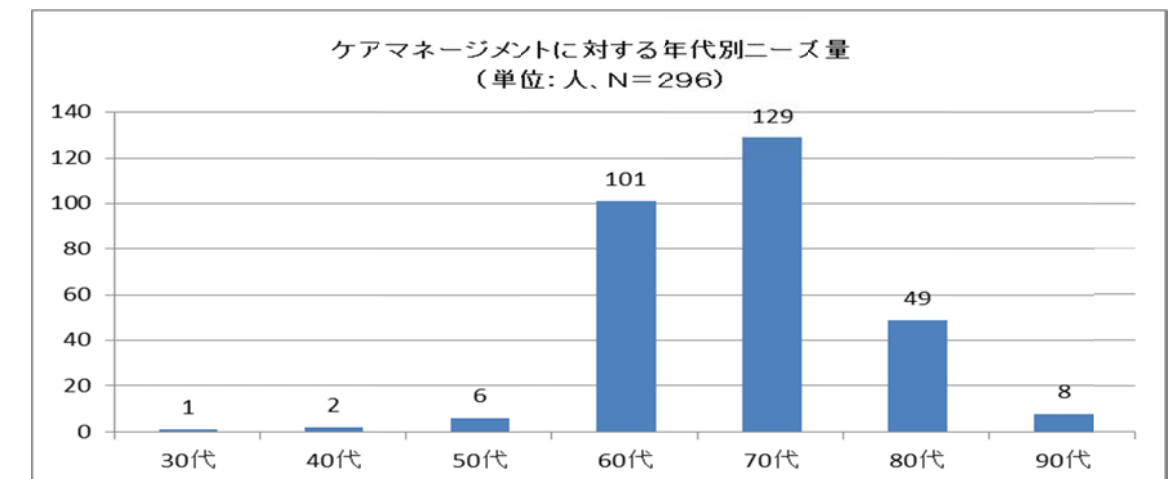
(1) 回答率

県内 53 ヶ所の精神科病院のうち 38 病院から回答があった。病院数を基準にした場合は、回答率 72%となり、病床数を基準にした場合は、県内の全精神科病床の 70%に相当する病院から回答が得られた。

3 福祉サービス別に見たニーズ量の年代別分布

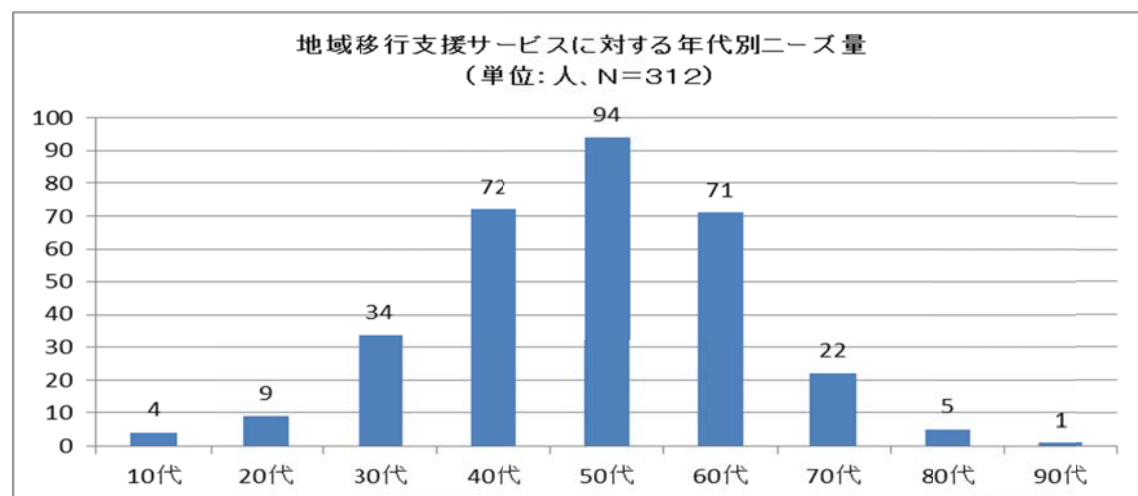
(1) 介護保険制度によるケアマネジメントに対するニーズ

年代	早期退院のために、ケアマネジメントの利用が望まれる人の数	補正值(人) (回答率(70%)を考慮し、左欄を10/7倍した値。以下同じ。)	構成比
30代	1	1	0.3%
40代	2	3	0.7%
50代	6	9	2.0%
60代	101	144	34.1%
70代	129	184	43.6%
80代	49	70	16.6%
90代	8	11	2.7%
計	296	423	100.0%



(2) 障害者総合支援法による地域移行支援サービスに対するニーズ

年代	早期退院のために、地域移行信託サービスの利用が望まれる人の数	補正值(人)	構成比
10代	4	6	1.3%
20代	9	13	2.9%
30代	34	49	10.9%
40代	72	103	23.1%
50代	94	134	30.1%
60代	71	102	22.8%
70代	22	31	7.1%
80代	5	7	1.6%
90代	1	1	0.3%
総計	312	446	100.0%



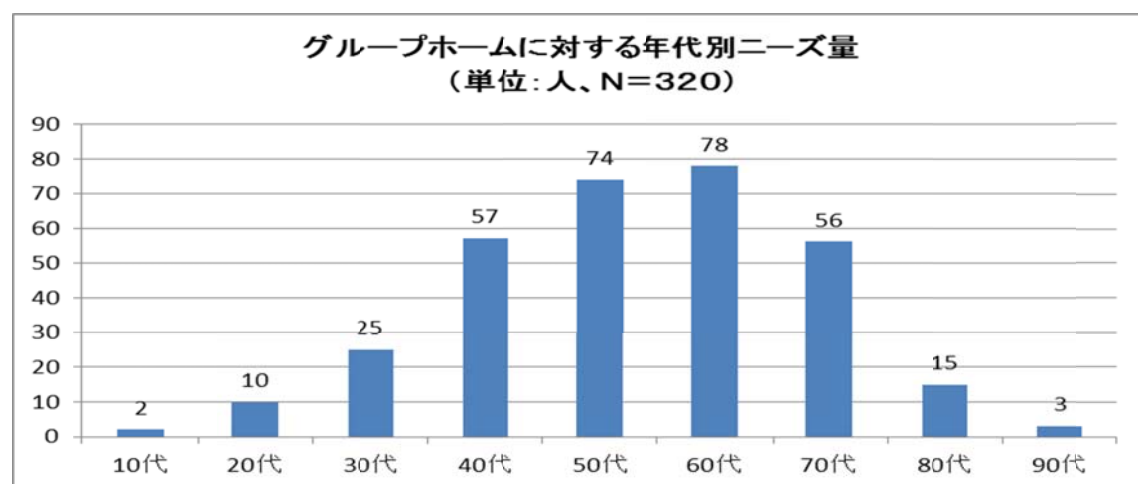
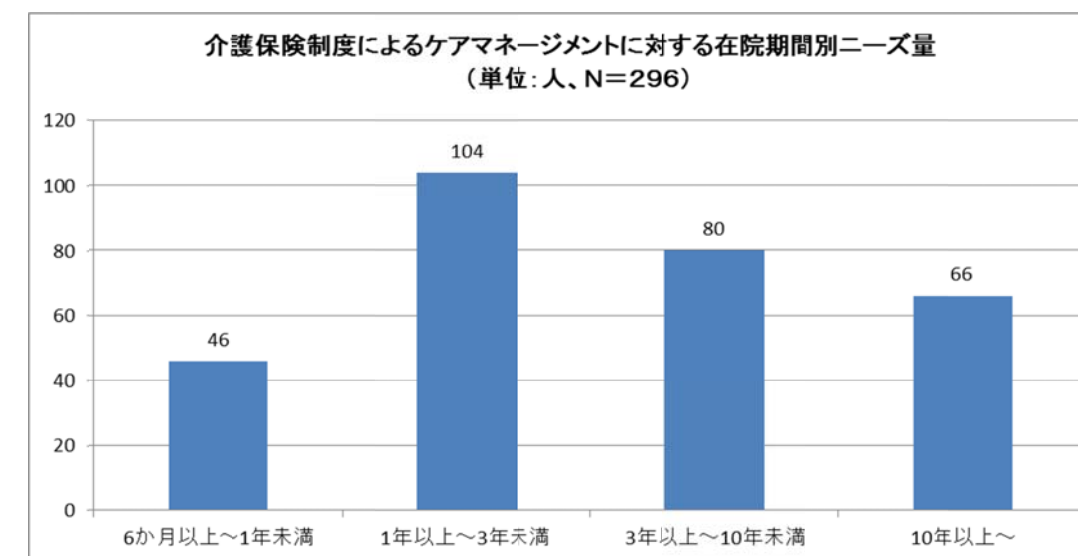
4 福祉サービス別に見たニーズ量の在院期間別分布

(1) 介護保険制度によるケアマネジメントに対するニーズ

在院期間	早期退院のために、ケアマネジメントの利用が望まれる人の数	補正值(人)	構成比
6か月以上～1年未満	46	66	15.5%
1年以上～3年未満	104	149	35.1%
3年以上～10年未満	80	114	27.0%
10年以上～	66	94	22.3%
総計	296	423	100.0%

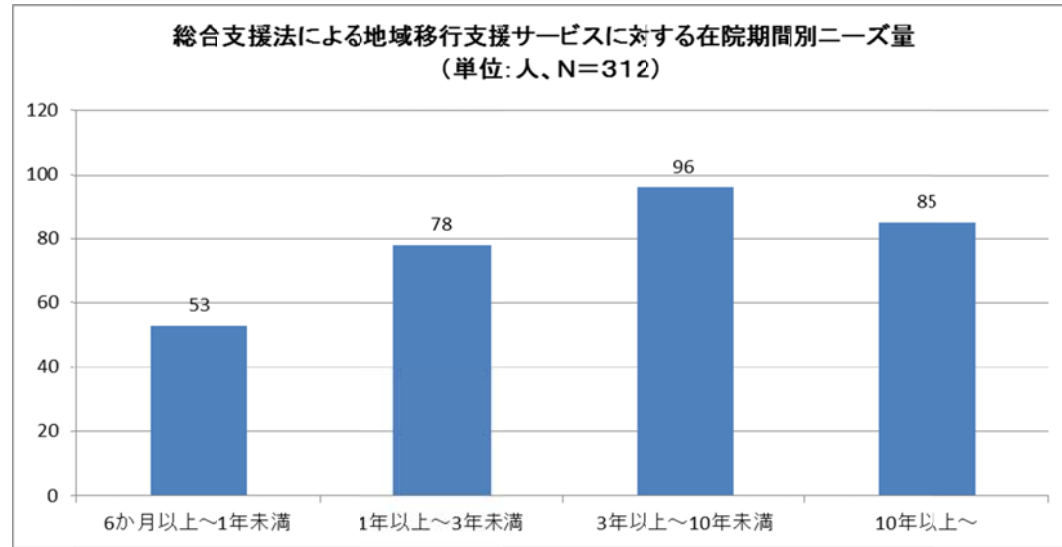
(3) グループホームに対するニーズ

年代	早期退院のために、グループホームの利用が望まれる人の数	補正值(人)	構成比
10代	2	3	0.6%
20代	10	14	3.1%
30代	25	36	7.8%
40代	57	82	17.8%
50代	74	106	23.1%
60代	78	112	24.4%
70代	56	80	17.5%
80代	15	21	4.7%
90代	3	4	0.9%
総計	320	458	100.0%



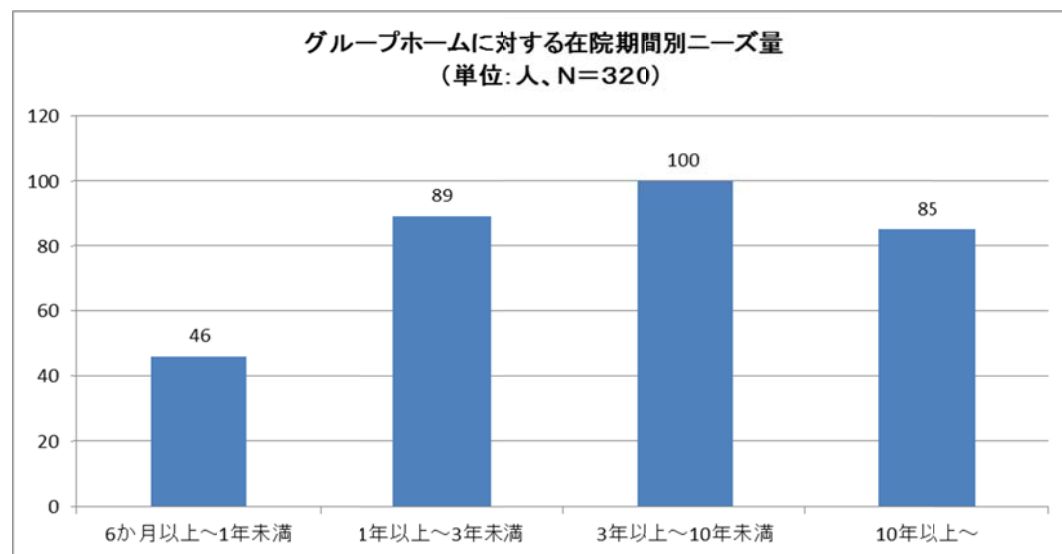
(2) 障害者総合支援法による地域移行支援サービスに対するニーズ

在院期間	早期退院のために、地域移行支援サービスの利用が望まれる人の数	補正值(人)	構成比
6か月以上～1年未満	53	76	17.0%
1年以上～3年未満	78	112	25.0%
3年以上～10年未満	96	137	30.8%
10年以上～	85	122	27.2%
総計	312	446	100.0%



(3) グループホームに対するニーズ

在院期間	早期退院のために、グループホームの利用が望まれる人の数	補正值(人)	構成比
6か月以上～1年未満	46	66	14.4%
1年以上～3年未満	89	127	27.8%
3年以上～10年未満	100	143	31.3%
10年以上～	85	122	26.6%
総計	320	458	100.0%



5 福祉サービス別に見たニーズ量の診断別分布

(1) 介護保険制度によるケアマネジメントに対するニーズ (以下、濃淡の網掛けは中核群を表す)

主診断 (ICD-10)	診断概要	人数	補正值(人)	構成比
F0	「症状性を含む器質性精神障害」(認知症等)	87	124	29.4%
F1	「精神作用物質使用による精神及び行動の障害」(薬物依存等)	6	9	2.0%
F2	「統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害」	161	230	54.4%
F3	「気分(感情)障害」(うつ病、躁うつ病等)	32	46	10.8%
F4	「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」(不安障害、強迫性障害等)	6	9	2.0%
F7	精神遅滞	2	3	0.7%
てんかん		1	1	0.3%
未記載		1	1	0.3%
総計		296	423	100.0%

(2) 障害者総合支援法による地域移行支援サービスに対するニーズ

主診断 (ICD-10)	診断概要	人数	補正值(人)	構成比
F0	「症状性を含む器質性精神障害」(認知症等)	19	27	6.1%
F1	「精神作用物質使用による精神及び行動の障害」(薬物依存等)	2	3	0.6%
F2	「統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害」	239	342	76.6%
F3	「気分(感情)障害」(うつ病、躁うつ病等)	28	40	9.0%
F4	「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」(不安障害、強迫性障害等)	4	6	1.3%
F5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群(摂食障害、産褥に関連した精神障害等)	1	1	0.3%
F6	成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	1	0.3%
F7	精神遅滞	10	14	3.2%
F8	心理的発達の障害(自閉症等)	6	9	1.9%
その他		1	1	0.3%
てんかん		1	1	0.3%
総計		312	446	100.0%

(3) グループホームに対するニーズ

主診断 (ICD-10)	診断概要	人数	補正值(人)	構成比
F0	「症状性を含む器質性精神障害」(認知症等)	46	66	14.4%
F1	「精神作用物質使用による精神及び行動の障害」 (薬物依存等)	14	20	4.4%
F2	「統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害」	214	306	66.9%
F3	「気分(感情)障害」(うつ病、躁うつ病等)	22	31	6.9%
F4	「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」(不安障害、強迫性障害等)	8	11	2.5%
F7	精神遅滞	10	14	3.1%
F8	心理的発達障害(自閉症等)	3	4	0.9%
その他		1	1	0.3%
てんかん		1	1	0.3%
未記載		1	1	0.3%
総計		320	458	100.0%

6 各福祉サービスの重複ニーズの分布

(1) ケアマネージメント × 地域移行支援サービスの重複

(ケアマネージメントへのニーズを有する人のうち、地域移行支援サービスへのニーズも併せ持つ人)

区分	人数	補正值(人)	構成比
地域移行支援サービスへのニーズあり	46	66	15.5%
地域移行支援サービスへのニーズなし	250	358	84.5%
計	296	423	100.0%

(2) ケアマネージメント × グループホームの重複

(ケアマネージメントへのニーズを有する人のうち、グループホームへのニーズも併せ持つ人)

区分	人数	補正值(人)	構成比
グループホームへのニーズあり	87	124	29.4%
グループホームを既に申込中	3	4	1.0%
グループホームへのニーズなし	206	295	69.6%
計	296	423	100.0%

(3) 地域移行支援サービス × ケアマネージメントの重複

地域移行支援サービスへのニーズを有する人のうち、ケアマネージメントへのニーズも併せ持つ人

区分	人数	補正值(人)	構成比
ケアマネージメントへのニーズあり	46	66	14.7%
ケアマネージメントへのニーズなし	266	380	85.3%
計	312	446	100.0%

(4) 地域移行支援サービス × グループホームの重複

地域移行支援サービスへのニーズを有する人のうち、グループホームへのニーズも併せ持つ人

区分	人数	補正值(人)	構成比
グループホームへのニーズあり	165	236	52.9%
グループホームを既に申込中	9	13	2.9%
グループホームへのニーズなし	138	197	44.2%
計	312	446	100.0%

7 「年代×在院期間」をクロスさせた各福祉サービスのニーズ量分布

(1) 介護保険制度によるケアマネージメントに対するニーズ

	30代	40代	50代	60代前半 (~64歳)	60代後半 (65歳~)	70代前半 (~74歳)	70代後半 (75歳~)	80代	90代	計
6か月以上~1年未満				2	15	13	5	10	1	46
1年以上~3年未満		1	5	6	25	25	17	20	5	104
3年以上~10年未満	1	1		5	21	23	17	11	1	80
10年以上~			1	4	23	15	14	8	1	66
計	1	2	6	17	84	76	53	49	8	296

(2) 障害者総合支援法による地域移行支援サービスに対するニーズ

入院期間	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
6か月以上~1年未満	4	1	5	12	17	9	4	1		53
1年以上~3年未満		3	11	19	23	15	5	1	1	78
3年以上~10年未満		5	10	23	25	23	9	1		96
10年以上~			8	18	29	24	4	2		85
計	4	9	34	72	94	71	22	5	1	312

(3) グループホームに対するニーズ

入院期間	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
6か月以上～1年未満	2	2	1	7	7	11	10	6		46
1年以上～3年未満		2	13	19	20	14	14	5	2	89
3年以上～10年未満		6	7	17	21	27	19	2	1	100
10年以上～			4	14	26	26	13	2		85
計	2	10	25	57	74	78	56	15	3	320

8 各福祉サービスニーズを有する中核年代の「在院期間×診断」クロスニーズ量分布

(1) 介護保険制度によるケアマネジメントに対するニーズ

60代～70代の年齢層について見た、主診断(F0、F2、F3／構成比5%以上)×在院期間のクロス集計

ICD-10		6か月以上～1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～10年未満	10年以上～	計
F0	「症状性を含む器質性精神障害」(認知症等)	14	22	12	2	50
F2	統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	13	36	45	46	140
F3	「気分(感情)障害」(うつ病、躁うつ病等)	6	10	4	5	25
計		33	68	61	53	215

(2) 障害者総合支援法による地域移行支援サービスに対するニーズ

40代～60代の年齢層について見た、主診断(F0、F2、F3／構成比5%以上)×在院期間のクロス集計

ICD-10		6か月以上～1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～10年未満	10年以上～	計
F0	「症状性を含む器質性精神障害」(認知症等)	2	3	3	2	10
F2	統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	27	43	57	63	190
F3	「気分(感情)障害」(うつ病、躁うつ病等)	5	7	7	1	20
計		34	53	67	66	220

(3) グループホームに対するニーズ

40代～70代の年齢層について見た、主診断(F0、F2、F3／構成比5%以上)×在院期間のクロス集計

ICD-10		6か月以上～1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～10年未満	10年以上～	計
F0	「症状性を含む器質性精神障害」(認知症等)	11	10	7	3	31
F2	統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	18	39	59	67	183
F3	「気分(感情)障害」(うつ病、躁うつ病等)	4	7	7	3	21
計		33	56	73	73	235

9 主要な属性を併せ持つ中核患者群の地域移行への主要ネック要因

(1) 年代(高齢層)×疾患(認知症・統合失調症)×在院期間(中～長期)

(網掛け部分は全体の半数以下しか当てはまらない要因)

順位	60～70代、認知症等、入院期間1～3年		60～70代、統合失調症等、入院期間3年～10年		60～70代、統合失調症等、入院期間10年以上	
	ネック要因	割合	ネック要因	割合	ネック要因	割合
1	住まいの場の確保	59.1%	住まいの場の確保	77.8%	住まいの場の確保	80.4%
2	家族(キーパーソン)の協力	45.5%	家族(キーパーソン)の協力	60.0%	患者本人が退院の意思を持つこと	76.1%
3	患者本人が退院の意思を持つこと	36.4%	通院先の確保や訪問看護など治療の継続性	55.6%	家族(キーパーソン)の協力	58.7%
4	ホームヘルプサービスなどの日常生活支援	36.4%	ホームヘルプサービスなどの日常生活支援	46.7%	通院先の確保や訪問看護など治療の継続性	50.0%
5	通院先の確保や訪問看護など治療の継続性	31.8%	患者本人が退院の意思を持つこと	40.0%	ホームヘルプサービスなどの日常生活支援	43.5%